コロナ禍で職員も奮闘しています

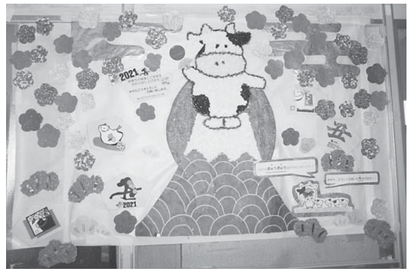
みいデイケア

みいデイケアでは、新型コロナウイルス感染防止対策のため、職員間の話し合いや感染症に対する学習を行い、利用者様やご家族、職員がどうすれば安全にサービス提供ができ、安心して利用してもらえるのか、知恵を出し合って実践しています。

この間の取り組みとしては、飛沫感染防止衝立の作成、送迎車両及びリハビリ機器、レクリエーションの道具など、使用することに消毒を実施、体調確認、それ以外にも様々な感染防止対策を実践しながら、事業運営を行っています。

今後もみいデイケアとして、コロナ禍でもできること、楽しんでもらえることを考えて、職員一同、取り組んでまいります。

（副部長　平岡賢明）



さつきヘルパーステーション

ヘルパーステーションは、利用者様宅に訪問しての介護サービスなので、コロナウイルスを持ち込まない、持ち出さないように予防対策を徹底しています。

手洗い、マスク着用、手指や身の回りの消毒、午前・午後2回検温、体調管理の報告をした上で訪問しています。利用者様にもヘルパー訪問前には検温、訪問中はマスク着用をお願いし、協力していただいています。なんらかの症状がある時は、ガウンテクニック（防護服）で訪問し、身体介助だけではなく、家事援助（掃除・調理など）もさせていただきました。

ガウンテクニックでの介助は、了承してもらっていましたが、実際、訪問すると利用者様はびっくりされることもあり、「そこまでするなら訪問はよい」とお断りされる場合もありました。ヘルパーもビニールエプロンの中は汗だらけ、ゴーグル内は曇って見えにくく、会話もそこそこでコミュニケーションが通常より取りにくい中、介助させていただきました。

その甲斐あり、利用者様、ヘルパーともにコロナ感染のない状況ですが、これが続くと精神的につらくなっていくでしょう…。なので今はコロナが早く終息し、今まで通りの生活になるよう願いつつ、みんなで頑張っていこうと思います。

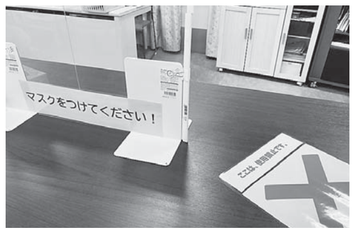
（室長　丸山篤子）

さつきデイサービス

昨年4月の緊急事態宣言を受けて、さつきデイサービスでも、感染予防対策のために利用者様にご家族にも電話でお伝え時間短縮や回数を減らすなど、利用を控えていただくこととなりました。そのため、ADL（日常生活動作）に影響が出た利用者様がおられ、日々のリハビリや人と会って楽しく話をするなどの社会参加の重要性を改めて実感することとなりました。

今後も感染予防対策と強化を徹底し、利用者様が毎日、安心してご利用できるよう、職員一丸となり、継続したサービスに取り組んでまいります。体験ご希望の方がおられましたら、いつでもご相談ください。よろしくお願いします。

（副部長　平山明美）



透明な仕切板も準備

きんだデイサービス

4月7日に緊急事態宣言が発令され、次の日からデイサービスは、縮小・時短の営業となりました。3密を避けるため利用者様へ利用回数減・時短をお願いし、同時に、消毒・マスク着用・換気・アクリル板設置など、様々な感染対策をとりました。

マスク着用の促しに時には怒ってしまわれる方もおられましたが、「それでもデイを休むわけにはいかない」と説明を続け、理解を得ながら過ごしました。宣言解除後、通常の利用に戻り、「少しでも気分転換になれば」と例年通りとはいかないまでも、ミニ夏祭り、ミニ運動会を感染対策を練って開催し、楽しんでいただきました。今では感染対策が馴染み、100%マスク着用、消毒も自然な風景。「大変やなあ、ありがとね」の声を励みに、頑張っています。

年末、1人の感染者発生で4日間の休業となりましたが、他に感染が広がることなく、12月27日には再開でき、入浴して年越ししていただくことができました。この時、利用者様やご家族から「あんたら、よう頑張ってんで。〝きんだ〟は安心やねん」と励ましをいただき、涙してしまいました。「職員も利用者様も一丸となって感染対策に取り組んでいる」と感じています。

毎日の「乗り切ろうなあ」を合言葉にして、これからも頑張ります!!

（主任　福永万理）

楽しい運動会でハッスル

すばやく消毒

介護付有料老人ホームさつき

昨年4月ごろより、新型コロナウイルス感染拡大を受け、ホームさつきでも感染者を出さないために、入居者・職員の健康管理など、予防対策を徹底しつつ、感染者が出た場合でも拡大させないためのマニュアル作り、シミュレーションを重ねてきました。

そんな中、12月に当施設で感染者が確認されました。高齢者施設ということもあり、すぐに入院できると思っていましたが、いま世間でも問題視されているように、ホームさつきでの入院「待機」となりました。いつ急変するかという不安を常に抱えつつも、誰一人投げ出す職員はなく、チーム一丸となってコロナ感染症に立ち向かうことができました。また、日々の状況はご家族にも電話でお伝えし、時にはTV電話で面会をしていただき、「顔が見れ、声が聞けて安心しました」と言っていただけました。

その後、感染拡大することなく経過し、1月23日に無事、終息を迎えることができました。これからも入居者様一人ひとりを大切に、感染予防をしながら、安心、かつ快適な入居生活を送っていただけるよう、日々頑張ります。

（副部長　大倉直也）

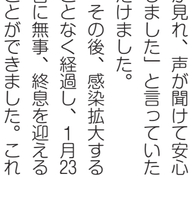
理事のつぶやき ⑨

昨年の10月のことです。成田西支部の支部長の南貢さんから、「北小学校の校庭の楠の一部が枯れ、木の勢いもなくなって無惨な姿になっている、なんとか楠を保護できないだろうか」と話がありました。

南さんは、北小の卒業生で楠の惨状を見て、「ほっておけない」とみんなに声をかけられました。私の二人の息子も北小を卒業し、下の息子は学童保育に通っていた時、「楠の木陰は、夏場涼しく、よくあそこですずんでいた」と言っていたので、「楠を守りたい」と思い、南さんとともに校長先生に「弱っている楠を守ってほしい」とお願いに行きました。

校長先生からも、「楠は北小のシンボルであり、保存していきたいと考えていて、すでに市役所や教育委員会と対応を検討しています」との返答をいただきました。

南さんの思いを受け継ぎ



「楠の今後をしっかりと見守っていこう」と思っていた矢先、南さんの突然の訃報を受け、成田西支部の大黒柱を失った悲しみに落ち込んでいた私でした。

でも、「いつまでもくよくよしてはいられない。南さんの思いを受け継ぎ、楠を守っていこう」と決意しました。

これまで南さんがしてこられた、組合員さんの困りごとの相談、地域の皆さんの要望を実現させるために尽力されていたことを、これからは支部の皆さんとやっていきますね。

南さん、どうか新米理事の私のことを見守ってくださいね。

理事　西田昌美

カエルもマスクして〝よびかけ〟、大変ななかでも新年のご挨拶▶

診察室よもやま話 ㉚

明けない夜はない ～忍耐と知恵 後編

みい診療所　所長　高尾　文介

厚生労働省の統計によると、去年7月までの全国死亡者数は79万人、前年同期に比べ1万800人減っています。

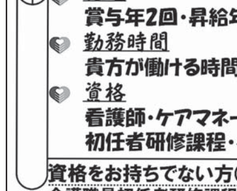
コロナ禍で健康管理 昨年の死亡者は減少

最も減ったのは、呼吸器疾患です。コロナ禍で外出・外食を控える生活習慣の変化で、インフルエンザ・感染性胃腸炎などの感染症・交通事故・心筋梗塞などの循環器疾患による死亡率の減少が見られます。新型コロナウイルス感染症の恐ろしさを知る反面、我々の生活様式の変化が、健康により大きな影響を持つことを認識させられます。

このコロナ禍の中、高血圧・糖尿病・肝臓病など、慢性疾患を持つ方は定期的に通院し、必要な検査を受け、運動と食事療法を継続し、子どもを持つ家庭は子どものワクチン接種も忘れずなど、しっかりと健康管理しておきましょう。

感染症の収束の時期 特効薬開発に期待

2021年に入り、今年の展望は何よりも新型コロナウイルス感染症の収束の時期です。新型コロナウイルスに対抗できるのは特効薬の開発、及び認可されたワクチンの効果です。いま有望とされる合成の抗新型コロナウイルス抗体治療薬は、アメリカで数社が既に製造し、医療現場で使用されています。また寄生虫治療薬のイベルメクチンを感染初期に投与すると、症状を軽減する研究も進んでいます。他にも、今までにない新薬の開発が治験段階に入っています。



ワクチン接種は 2月末から?

ワクチンに関しては、アメリカ・イギリスなどの国で接種が始まっていて、日本も2月末から順次、国民に接種する企画をしています。

今認可されているワクチンの有効率は、65～95%と報告されますが、全世界に行きわたるには、1、2年以上を要するでしょう。ウイルスの変異株の出現が心配されますが、今の〝新型RNAワクチン〟は、新しいワクチンの製造が旧型のワクチンより早く対応できます。

今こそ全年代で警戒を 秋には落ち着く可能性に

最も楽観的な推測で、すべてがうまくいけば、日本では、今年の秋ごろに新型コロナウイルス感染症がある程度、落ち着いてくる可能性もあります。

新型コロナウイルス感染症の真っただ中、多くの感染者が入院できず、自宅待機を余儀なくされています。去年12月に自宅や宿泊施設で急変し、亡くなったのが56人に急増しています。年代は、70代が39人と最多で、30代2人、40代6人、50代20人など、高齢者に限らず、全年代に警戒すべきではあります。

昨年、我々はコロナ禍でたくさんの犠牲を払いましたが、同時にたくさんのことも学びました。払った犠牲を無駄にしないため、夜明けまで〝忍耐と知恵〟でコロナ禍を乗り越えましょう。

伝言板

◎日曜健診
時間は完全予約制です。事前にご連絡下さい。
・みい診療所
072(835)0600
2月21日
・みどり診療所
072(882)1118
2月14日
（コロナ感染症拡大との関係で、両診療所とも送迎はありません。また、状況によって中止となる場合があります）

■法律相談（要予約）
2月26日（金）14時
一人20分程度の時間です。お気軽にご相談下さい。
問い合わせは地域サポートセンターへ
072(882)5025
門真市朝日町20番15号
萱島駅から徒歩7分

組合員現勢

2021年1月1日現在

世帯数	8,819世帯
組合員数	12,619名
出資金	4億60,915千円

急　募
看護・介護スタッフ
常勤・パート・登録や短時間勤務など、多様な働き方の相談にのります
待遇
賞与年2回・昇給年1回・社会保険完備
勤務時間
貴方が働ける時間で対応します
資格
看護師・ケアマネージャー・介護福祉士
初任者研修課程・ヘルパー2級
資格をお持ちでない方（未経験）も大歓迎♪
介護職員初任者研修課程講座を開講していますので、働きながら資格が取れます。
普通免許所持者歓迎 / 経験者優遇！ / 常勤職員 パート職員 / 福利厚生充実 / 充実した研修制度
事前の施設・事業所見学できます。まずはお気軽にお電話下さい。
☎ 072－882－5095
けいはん医療生活協同組合　住所：門真市上島町38番8号
担当：松田・山田